

妊婦・褥婦の産後ケアに対する意識と抱えるニーズ及び利用を阻む要因に関する横断研究に関する研究のお知らせ

神奈川県立保健福祉大学（ヘルスイノベーション研究科 or イノベーション政策研究センターどちらか選択）では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間	2025年2月5日～2027年3月31日
研究課題	妊婦・褥婦の産後ケアに対する意識と抱えるニーズ及び利用を阻む要因に関する横断研究
研究の概要	<p>目的及び意義：</p> <p>2021年4月に産後ケア事業が自治体の努力義務となって以降、国内の産後ケア事業の取り組みが広がってきた。また近年は民間企業による産後ケア施設の開業も増加し、産後ケアという取り組み自体が世間から注目されるようになった。一方で自治体による利用実績の公表等も行われているものの、妊婦・褥婦が持つ産後ケアに対する認識や潜在的なニーズ、既存のサービスの利用を阻む要因等については十分な研究がなされていないのが現状である。そこで本研究では、産後ケアが真のユニバーサル・サービスとなるために欠かせないそれらの実態を明らかにすることを目的とする。</p> <p>具体的には妊婦・褥婦を対象に、産後ケアに対する認識や利用の希望、利用の実態、育児サポートの有無や産後ケアに求めるケアの内容等についての横断的な分析を行い、潜在的なニーズ、既存のサービスの利用を阻む要因等についての考察を行う。</p> <p>対象：</p> <p>妊娠中もしくは産後1年までの女性</p> <p>方法：</p> <p>2022年9月19日～10月2日に株式会社Rineにより実施されたウェブ調査データ（個人情報を含まない）の提供を受けて、妊婦・褥婦が持つ産後ケアに対する認識や潜在的なニーズ、既存のサービスの利用を阻む要因等について探索的に検証する。</p>
研究組織	<p>【研究代表者】</p> <p>大貫 詩織</p> <p>神奈川県立保健福祉大学大学院 ヘルスイノベーション研究科 修士課程</p> <p>【研究分担者】</p> <p>吉田 穂波（研究指導）</p> <p>神奈川県立保健福祉大学大学院 ヘルスイノベーション研究科 教授</p>
個人情報の取扱い	<p>すでに実施されているウェブ調査は、その収集時点から個人情報を含まないものになっているため、当然データの提供時点でも個人情報の提供を受けることはない。データ解析は、パスワードロックなどのセキュリティ対策をとったパソコン及び執務環境で行うこととし、他者が使用可能なパソコンや公的な空間では行わない。</p> <p>本研究で用いられるデータについては、外部媒体（CD）に保存された状態で情報セキュリティポリシーに則った特定のコンピュータ上にパスワード保護をしたうえで保存し、解析に用いる。使用するデータはPCに保管し、ファイルにパスワードをかけて保管したデータは、当該研究の終了について報告された</p>

	日から5年を経過した日、または当該研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過した日のいずれか遅い日まで保管する。データのアクセス権は記載されている研究代表者、分担者とする。
その他	

対象となる方で、研究の内容や、ご自身の検査結果などの研究への使用に関して、より詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記の間い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます。

〔問い合わせ先〕

研究代表者：

神奈川県立保健福祉大学大学院 ヘルスイノベーション研究科 修士課程 大貫詩織

TEL：044-589-8100（代表）